

命・くらしを守る万全の対策を

七里南地域
東宮下・大谷
膝子・新堤
日本共産党後援会ニュース

No.146
2020年3月

七里南地域日本共産党後援会
 (連絡先)
 日本共産党蓮沼事務所
 見沼区蓮沼471
 TEL(685)6240
 FAX(747)8525

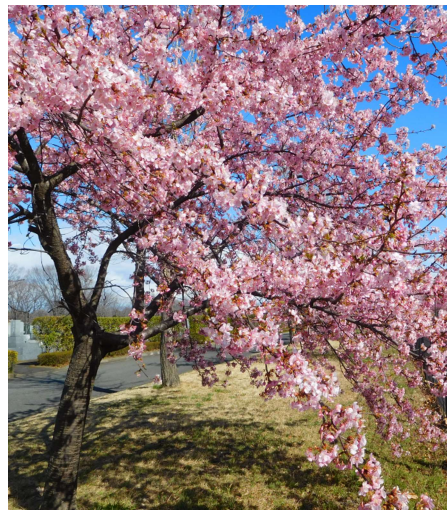
【部内資料】
 【発行責任者】
 高橋 博

新型コロナウイルス対策に全力を尽くします

新型コロナウイルスの感染者が広がりつつあります。また、医療や学校、雇用、営業にも深刻な影響が出始めています。みなさんのまわりでは、どのような影響が出ているでしょうか。子どもと子育て世代に混乱を持ち込んだ「一律休校」に関連して、学童への追加の財政措置を厚労省が決定しました。これは、現場の声と党国会議員団の論戦によって実現したものです。日本共産党は、国会議員団や地方議員団、支部が連携をして、県民の命とくらしを守るために全力をあげています。

日本共産党埼玉県委員会はこのほど、新型コロナウイルス対策本部を設置しました。対策本部は、県民のみなさんの要望、さまざまな困りごとを聞き取る活動を進めています。寄せられた要望については、国や自治体、関係機関に申し入れます。ご協力をお願いします。県委員会・地区委員会・市議団などにご連絡をお願いします。

- 日本共産党埼玉県委員会 048(658)5551
- 日本共産党さいたま地区委員会 048(641)1561
- 日本共産党さいたま市議団 048(829)1811
- とばめぐみ蓮沼生活相談所 048(685)6240



市営霊園の河津桜

伊豆に行かずとも河津桜が楽しめます。市営霊園の染谷寄りに植えられた河津桜が見事な桜並木となりました。興味のある方は来年2月末頃にお出かけください。 2/27撮影

学童保育に十分な財政措置を

日本共産党参議院議員 伊藤 岳



伊藤岳議員は3月10日参院総務委員会で、政府の全国一律休校要請により子どもの居場所の受け皿となった学童保育の混乱のなかで奮闘する現場の声を取り上げ、実情を把握して十分な財政措置を取るよう求めました。全国の学童保育では朝から開所するなどして休校に対応しています。厚労省は1施設あたり

1日1万2000円の交付金追加を決めていましたが現場の声を受け3万2000円への引き上げを決めました。

伊藤氏は、それでもやっていけない放課後児童クラブ・学童保育があると指摘し、埼玉県内の実態を紹介しました。ある市の「民間学童連絡協議会」では、

人件費などを懸念し1日1000円の保護者負担を決めたことを紹介。「民間には補助は来ないかも」という不安の声とともに、追加交付金があっても運営資金が足りない実情を語り、「現場の学童保育にこんな懸念をさせないでほしい。現場の実

態にすべて応えと言ってください」と求めました。

稲津久厚労副大臣は、休校にともなう追加の経費について「10分の10を国庫負担し、保護者には負担を求めない。そのような(保護者負担を求めない)ことがあればしっかり対応したい」と答えました。

厚労省の担当者は、光熱水費などの諸費用、感染予防で学童保育の利用を控えた世帯の保育料分の補てんにも追加交付金が活用できると答弁。内閣府の担当者は、休校にともない学童保育が開所した日にさかのぼって交付できるようにすると述べました。

マスク配布で埼玉朝鮮幼稚園を対象外

子どもの命は平等に！
さいたま市抗議受けマスク配布へ



市議会議員
とば めぐみ

2月議会は、新型コロナウイルスの広がりの中、現場の対応を考慮して日程を変更しながら行われました。終盤の予算委員会の質問は、学校の休校に伴う放課後児童クラブの負担に集中し、災害用備蓄マスクを必要施設に配布をと市に迫り、3月9日から備蓄マスク24万枚のうち、9万3000枚を市内の保育所や幼稚園、放課後児童クラブなど、1000あまりの施設に配布されました。ところが埼玉朝鮮幼稚園が対象外とされたことから、11日園長、教職員、弁護士たちが抗議、4時間に及びました。この時市の職員が「さいたま市の指導監督施設に該当しないため、マスクが不適切に使用された場合、指導できない」と発言。配布量は1施設につき50枚入り1箱程度。園長は「1箱が欲しいのではない。」

子どもの命を平等に扱ってほしい」と抗議。12日市議団は担当部署にマスク配布対象に朝鮮学校も含めるよう求めました。

13日、市は市内にある私立や国立の小学校、各種学校などの管轄外施設についても配布を決定しました。生命にかかわる重大な問題で市の非人道的で差別的な措置があらわになりました。



報告するとばめぐみ市議

七里南地域「とばめぐみ市政報告と懇談会」開催

2月15日（土）に七里南地域

「とばめぐみ市政報告と懇談会」とばめぐみ蓮沼生活相談所で開催されました。10人が参加しました。

とば市議からは12月議会と地域からの要望について資料に基づいての報告がありました。12月議会では、市長ボーナスが9万9000円引き上げられ、この10年間で約133万円増に。一方で市民の給与所得は10年間で9万円下がり、また消費税2%アップ。市民が生活に困窮している中で市長ボーナス引き上げを批判しました。その他、「片柳小学校のバス通学すべての子どもに全額補助を」「公立保育所の産休明け保育10園で削減をやめ、復活させること」「さいたま北部医療センターを守れの質問をし、前進したこと」などの報告がありました。

地域からの要望については、大宮駅周辺などの大型開発（2都心4副都心）を優先し、国民

健康保険の引き上げや学校給食費の値上げを狙っているとのこと。市民が要望していることに予算を使おうとしないさいたま市の姿勢を批判しました。また、大谷小の過大規模校の解消や東楽園の建て替えなどには数年かかるなど、対策の遅れを指摘しました。

懇談では参加者から大谷学童保育所の苦しい運営の現状が出されました。預かる児童数が増えて過密になっていること、指導員の確保も困難なことなどあり、「委託金の増額」が切実な願いであることが切々と語られました。まだまだ、話し合いが必要なことから、今後も身近な場所での「市政報告と懇談会」を開催することを確認し合いました。

仕事・暮らしの悩み、どんなことでもご相談ください

とばめぐみ蓮沼生活相談所

蓮沼471（蓮沼交差点東側 大谷中通り脇）
電話685-6240 FAX747-8525

【無料生活相談日】

毎週水曜日 午前10時～12時

お急ぎのときは、TEL(641)1561まで

＝七里南地域 「アベ政治を許さない」スタンディング・アピール54回目＝

3月3日（月）桃の節句の日。午後1時から10分間、大谷・元野州ソバ屋前の路上で54回目のスタンディングが行われました。暖かい陽ざしの下、七里南地域から8人が参加しました。行きかう車も多く、何事かと目を向けるドライバーや乗客の姿が見られました。始まってすぐに、自転車に乗った若者がガッツポーズで応えてくれて、大いに励まされました。 次回は4月3日（金）です。みなさんの参加をお待ちしています。

